

奈良県の労働市場の動き（令和2年8月分）

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き（パートを含む）

・有効求人倍率（季節調整値）は1.11倍で、前月と同じ水準となりました。

・全国は1.04倍で、奈良県は0.07ポイント上回りました。
 ・近畿ブロックは1.04倍で、奈良県は0.07ポイント上回りました。

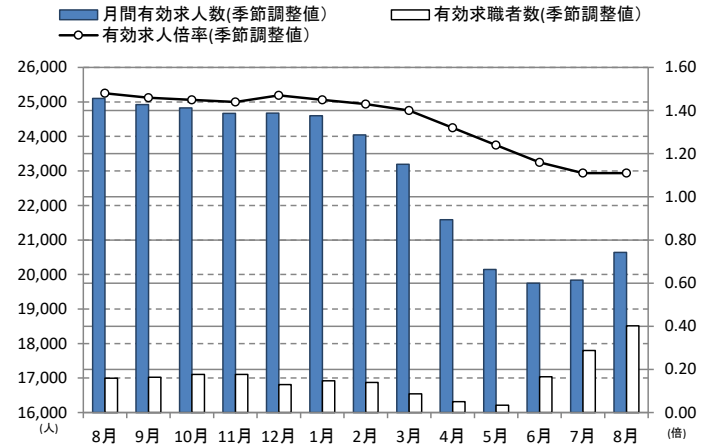
・有効求人数（季節調整値）は20,639人で、前月より4.0%の増加となり2ヶ月連続の増加となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は18,515人で、前月より4.0%の増加となり3ヶ月連続の増加となりました。

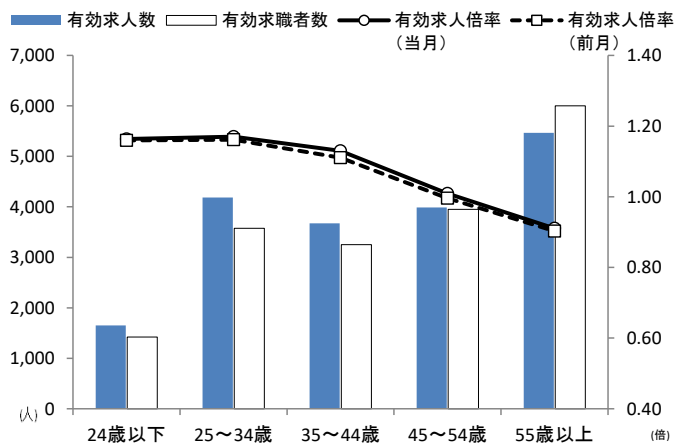
・新規求人倍率（季節調整値）は1.98倍でした。
 前月より0.3ポイント上回りました。

・新規求人数（季節調整値）は7,916人、前月より13.2%の増加となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比でみると、「医療、福祉」を除く業種で減少しました。



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況（常用・パートを含む）



建設業（前年同月比21.0%減）、
 製造業（同33.7%減）、
 運輸業、郵便業（同9.7%減）、
 卸売業、小売業（同31.6%減）、
 宿泊業、飲食サービス業（同13.1%減）、
 医療、福祉（同4.4%増）、
 サービス業(他に分類されないもの)（同21.6%減）

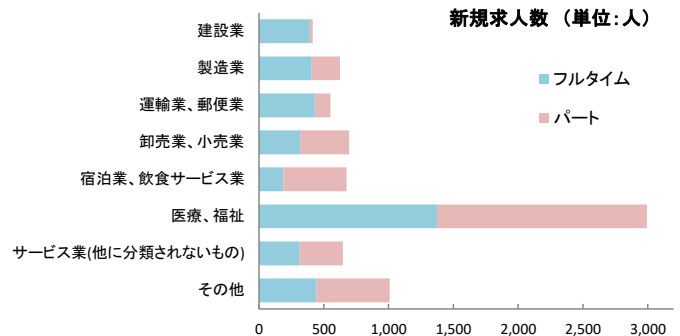
・新規求人数（原数値）7,610人のうちパート求人は3,742人でした。パート求人比率は49.2%でした。

・新規求職者（季節調整値）は、3,992人で前月より4.0%の減少となりました。

・雇用保険受給資格決定件数は1,096件でした。
 前年同月比で7.5%の増加となりました。
 ※雇用保険受給資格決定件数は速報値であり、修正があり得ます。

・雇用保険受給者実人員は5,114人でした。
 前年同月比で27.6%の増加となりました。

（注）求人倍率（季節調整値）については、季節調整替えが行われ、令和元年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）により改訂。



新規求人の産業別割合

